

8年ぶりホストファミリーと再会。なんとテレビに飛び入り出演も！

2013 タスカルーサ訪問記 by 小川翔平(NI-Youth)

今回は1月28日から2月14日まで、オランダ・ドイツ・アメリカ（ニューヨーク、アラバマ）を旅しました。それぞれの土地でたくさん思い出がありますが、今回は姉妹都市タスカルーサでの経験での報告です。

強い絆を再確認

今回の旅の1番の目的は、8年ぶりのホストファミリーと再会することでした。高校1年生の時、人生初のホームステイはとても緊張しながら過ごしたのを未だに覚えています。英語もまともに話せず、聞かれたことに答えるだけで精一杯だった私を、やさしく受け入れてくれた最高のファミリーでした。なかなか再会する機会がなかったのですが、今回、現地の姉妹都市委員であるリサ・キースさんに協力して頂きながら連絡を取り、帰国の1日前になんとか再会することが出来ました。実は今回の訪問直前にご家族に不幸があり、厳しい状況であったのにも関わらず、「なんとかして翔平（私）に会いたい」と言ってくれたのです。おかげで8年ぶりにホストファミリーとの再会を果たし、時間や距離で薄れることのない強い絆を再確認することが出来ました。

現地のテレビで感謝を伝える

もうひとつのエピソードを紹介しましょう。なんと現地のローカルテレビに飛び入りで生出演したのです！ リサさんが"Good Day Tuscaloosa"という地域番組に出演するので私も同行することになりました。実は8年前、アラバマを訪れた時にも同じ番組でインタビューを受けたのですが、それを知っていたリサさんが、放送前に「8年前に翔平さんがこの番組に出たのよ」と司会の方に伝えたところ、本番の中でもそのことが話題となり、そのまま私も番組の中へ招かれました。

ローカルチャンネルとはいっても生放送のテレビ番組、もちろんすべて英語での番組で

す。とても緊張はしましたが、8年前の私とは違うところを見せようと思い、勇気を出してカメラの中に飛び込みました。番組では、人生を変えるほどの貴重な経験を与えてくれたタスカルーサの皆さんにしっかりと感謝の気持ちを伝えることが出来ました。

習志野とタスカルーサとの姉妹都市交流は、私にとってかけがえのない経験であり、とても大事な私の一部です。これからもいろいろな経験をし、様々な出会いに感謝しながら進んでいきたいと思っています。

さらに詳しい旅行記は私のブログ「はぐるま」(<http://shoheihosso.blogspot.jp/>)をご覧ください。また個別に質問等がありましたら、NI-Youth(連絡先 niyouth000@gmail.com)までメールをお願いします。

